令和6年度(2024年度)全国学力・学習状況調査、西宮市学力調査の概要

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や 学習状況を把握・分析するとともに、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を 図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 2 本市における実施状況について
 - ① 調査期日

令和6年度 全国学力・学習状況調査:4月18日(木)

質問調査 (オンライン) は、4月10日 (水) ~4月30日 (火) 内

令和6年度 西宮市学力調査 : 5月7日(火)~13日(月)

② 調查対象

市内の小学校および義務教育学校(前期)第6学年、中学校第3学年および義務教育学校(後期)第9学年の全児童生徒

③ 調査内容

小学校・義務教育学校 第6学年 : (全 国) 国語、算数、質問調査

(西宮市) 社会、理科

中学校第3学年・義務教育学校第9学年: (全 国) 国語、数学、質問調査

(西宮市) 社会、理科、英語

※質問紙調査は、生活習慣・学習習慣等に関する調査。

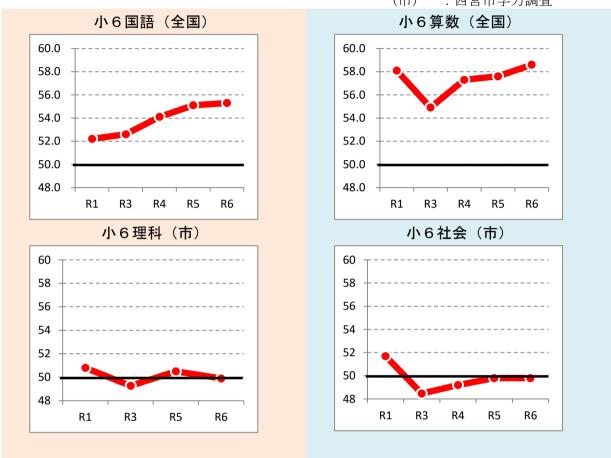
※令和2年度は、全国学力・学習状況調査および西宮市学力調査の実施は中止。



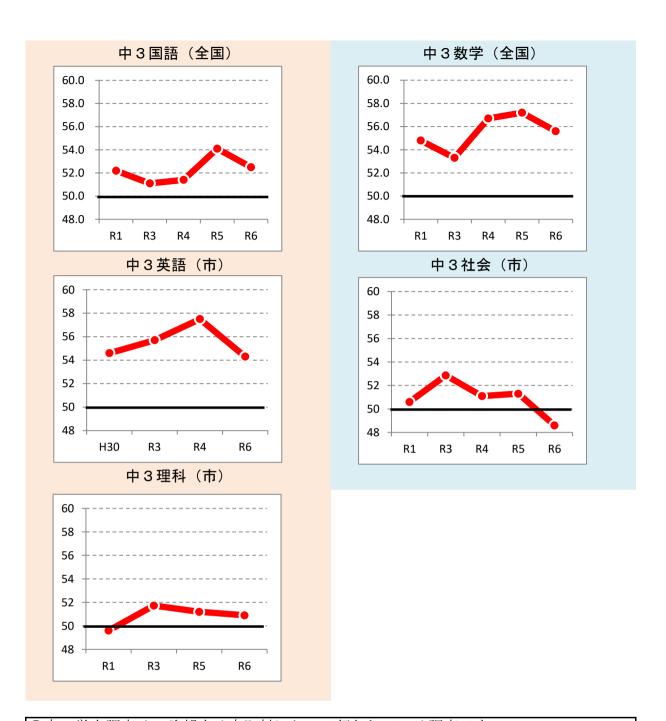
3 調査結果について

- (1)教科に関する調査の結果
 - ① 全国平均正答率を50とした正答率による過去の調査との比較 【国語、算数・数学、理科】 全国平均正答率を50とした偏差値 【社会、英語】 全国平均正答率を50として換算

(全国):全国学力・学習状況調査 (市):西宮市学力調査



- ○市の学力調査は、希望する市町村において行われている調査です。
- ・社会については、平成30年度より小6・中3が調査対象となり、西宮市学力調査を実施しています。



- ○市の学力調査は、希望する市町村において行われている調査です。
- ・社会については、平成30年度より小6・中3が調査対象となり、西宮市学力調査を実施しています。
- ・英語については、平成30年度より中3が調査対象となり、平成30年度・令和3年度・令和4年度・令和6年度に西宮市学力調査を実施しています。

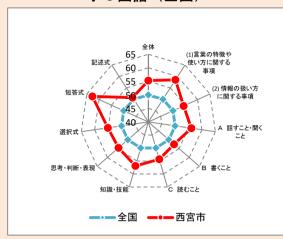
② 領域·観点·解答形式別正答率

【国語、算数・数学、英語】 【社会、理科】 全国平均正答率を50とした偏差値 全国平均正答率を50として換算

(全国):全国学力・学習状況調査

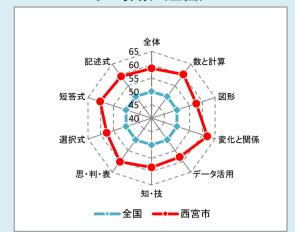
(市) : 西宮市学力調査

小6国語(全国)



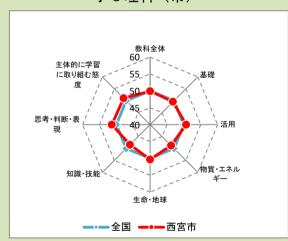
・領域・観点・解答形式において、大変良好な結果です。

小6算数(全国)



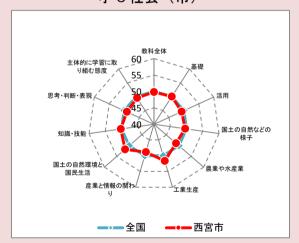
- ・領域・観点・解答形式において、 すべて全国を上回っています。
- ・非常に良好な結果です。

小6理科(市)



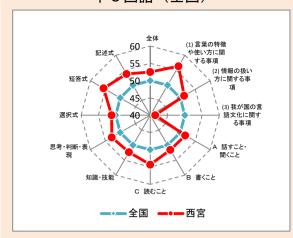
- ・「主体的に学習に取り組む態度」、 「思考・判断・表現」が全国よりも 上回っています。
- ・観点「知識・技能」および、領域 「物質・エネルギー」に課題が見ら れます。

小6社会(市)



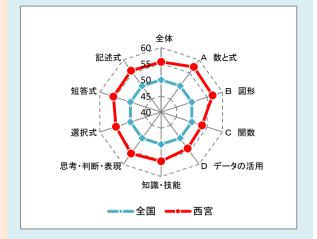
- ・基礎・活用、領域、観点において、 「工業生産」「国土と自然環境と 国民生活」が全国と比較して上 回っています。
- ・「産業と情報の関わり」「農業や 水産業」の領域に課題が見られ ます。

中3国語(全国)



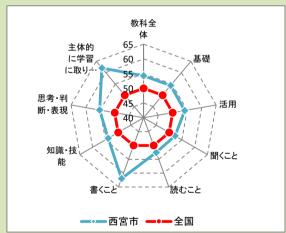
- 「我が国の言語文化に関する事項」 に課題が見られます。
- ・その他の項目については良好な結果です。

中3数学(全国)



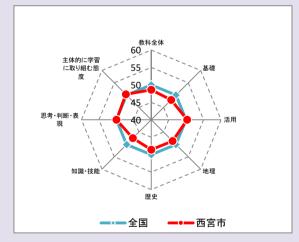
- 領域・観点・解答形式において、 すべて全国を上回っています。
- ・非常に良好な結果です。

中3英語(市)

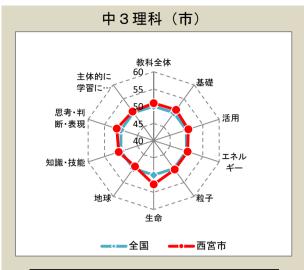


- ・基礎・活用、領域、観点において、 大変良好な結果です。
- ・特に領域「書くこと」、観点「主体 的に学習に取組む態度」のにおいて 非常に良好な結果です。

中3社会(市)



・領域「地理」「歴史」や、観点 「知識・技能」等いくつかの項目 において、課題が見られます。



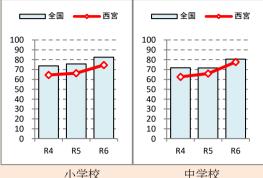
・「生命」の領域において大変良好な 結果です。

(2) 児童生徒質問紙に関する調査の分析の概要 ①学校での学習・生活習慣に関する項目

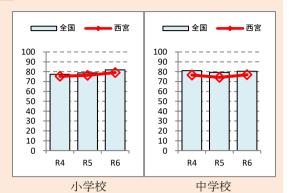
「当てはまる」「どちらかといえば 当てはまる」と回答した割合を示し ています。

学級活動における学級での話し合いを生かして、今、 自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

これまで受けた授業では、課題の解決に向けて、自分 で考え、自分から取り組んでいましたか。

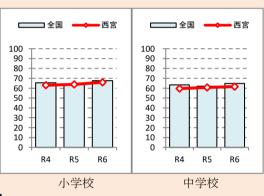




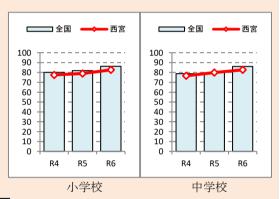


学級の友達との(児童生徒の)間で話し合う活動を通 じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることがで きていますか。

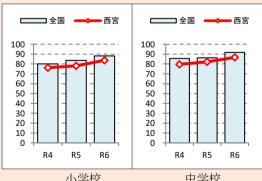
これまで受けた授業で、自分の考えを発表する機会で は、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話 の組立てなどを工夫して発表していましたか。



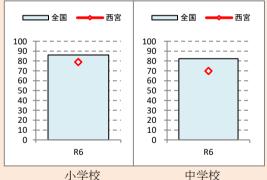
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグ ループで話し合ったりする活動に取り組んでいます



5年生までの(1、2年生のときの)学習の中でPC・タブレットな 6 どのIOT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。 (3) 楽しみながら学習を進めること ができる



中学校 小学校

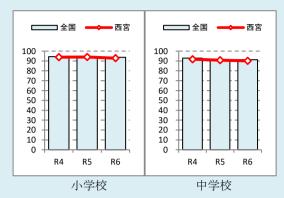


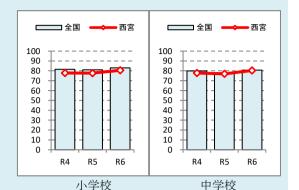
- 1の項目について、 7割以上の児童生徒が学級で話し合ったことを生かして、 努力すべきことを決めて取り組んでいます。
- 2の項目について、8割程度の児童生徒が授業における課題解決に向けて、自分で考 え、自分から取り組んでいます。
- ○3の項目について、6割以上の児童生徒が自分の考えを発表する機会において、自分 の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していま す。
- 4の項目について、8割程度の児童生徒が話し合い活動を通じて、自分の考えを深め たり広げたりすることができていると感じています。
- 5の項目について、8割以上の児童生徒が道徳の学習で自分の考えを深めたり話し 合ったりする活動に取り組んでいます。
- ○6の項目について、8割程度の児童、7割程度の生徒がICT機器を活用することでよ り楽しみながら学習を進めることができると感じています。

②家庭での学習・生活習慣に関する項目

1 朝食を毎日食べていますか。

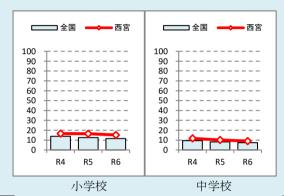
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

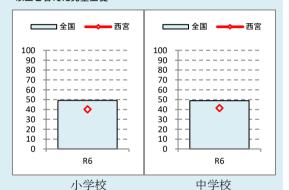




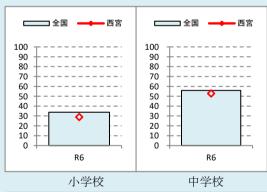
3 新聞を読んでいますか。

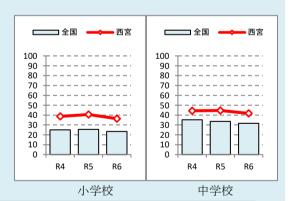
4 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。※2時間以上と答えた児童生徒





5 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携 帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯 電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時 間は除く)※2時間以上と答えた児童生徒 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり どれくらいの時間、勉強していますか、(学習塾で勉強してい る時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネット を活用して学ぶ時間も含む)※2時間以上と答えた児童生徒

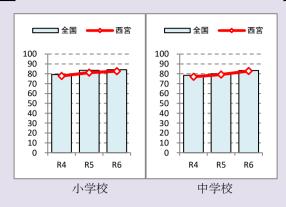


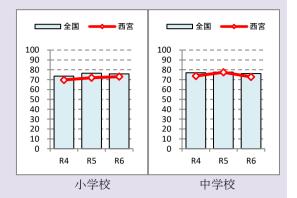


- 1の項目について、9割程度の児童生徒が朝ごはんを毎日食べる習慣があることが分かります。
- 2の項目について、8割程度の児童生徒が毎日同じ時刻に寝ていることが分かります。
- ○3の項目について、1割程度の児童生徒が新聞を読んでいます。
- 4の項目について、4割程度の児童生徒が普段(月曜日から金曜日)2時間以上ゲームをしています。
- 5の項目について、3割程度の児童、5割程度の生徒が普段(月曜日から金曜日)2 時間以上、SNSの閲覧や動画を視聴しています。
- 6の項目について、4割程度の児童生徒が学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり2時間以上勉強していることが分かります。

③自己有用感、挑戦心、受容に関する項目

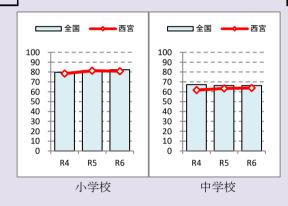
- 自分には、よいところがあると思いますか。
- 2 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

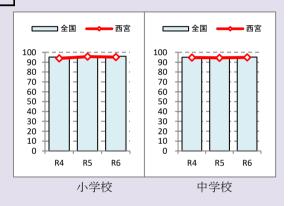




3 将来の夢や目標を持っていますか。

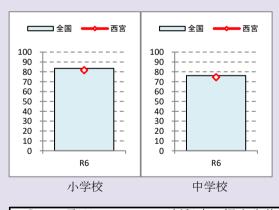
4 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

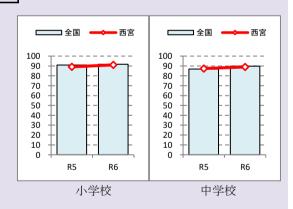




5 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

き段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどのくらいありますか。





- ○1の項目について、8割程度の児童生徒に、自分にはよいところがあると感じています。
- 2の項目について、7割程度の児童生徒が、自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じています。
- ○3の項目について、8割程度の児童、6割程度の生徒が将来の夢や目標をもっている と分かります。
- 4の項目について、9割以上の児童生徒が、人の役に立つ人間になりたいと思っていると分かります。
- 5の項目について、8割以上の児童、7割以上の生徒が地域や社会をよくするために 何かしてみたいと感じています。
- 6の項目について、9割程度の児童生徒が、普段の生活の中で幸せな気持ちになることがあると分かります。